

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	火災による避難訓練は夜間想定を含め、消防団や地区防災協力者が参加して実施しているが、外部協力者が避難誘導する際に利用者の身体状況など分かり難く、避難ルートも明確にされていない。	各居室に車椅子使用などを分かりやすく表示することで、避難がスムーズに出来るようにする。また避難時のルートを示す事で安全に移動できるようにする。	車椅子使用者の居室には工夫した表示をする。また一時避難場所を決めて表示する事で、避難がスムーズに出来るようにする。家族や地域住民参加の避難訓練時に説明、周知する。	2ヶ月
2	35	運営推進会議には、自治会長や消防団、行政、家族が参加し状況報告、課題等について意見交換を行っているが、民間としての意見が少ない。ホームが狭く併設している施設で会議を開催しており、利用者やホームの様子を見る機会がない。	運営推進会議に自治会の民生委員に参加してもらうことで、地域の情報や民間の意見を頂きたい。ホームでの様子を見て頂く事により	地域の民生委員に参加をお願いし、参加して頂く事で有意義な意見を頂く。年に数回はホーム内を見学したり、利用者の様子を見る機会を持つ。	3ヶ月
3	33	現在は看取りを行っていないが、今後は地域でのニーズもあり、医師、看護師、職員との連携を行いながら看取りに対応できる体制づくり、ホーム独自での指針作成が必要である。	今後の地域のニーズとして看取りの体制を整えていく。またマニュアル作成にはホーム独自の意見を取り入れていく。	看護職員がいない為、地域の訪問看護と連携する必要がある。訪問看護も現在、体制を整えている段階であり、双方の体制が整い次第看取りに向けて協働していく。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。